

ゆふゆふ、新しい宇迦橋をつくりはじめます!

神門通り線2工区では、宇迦橋の老朽化に伴う架け替え工事を進めています。令和3年春から着手していた橋梁撤去工事が完了し、令和4年3月から新しい宇迦橋をつくる工事に着手しました。

引き続き、安全・安心に努めて工事を進めますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

新しい宇迦橋ができるまで



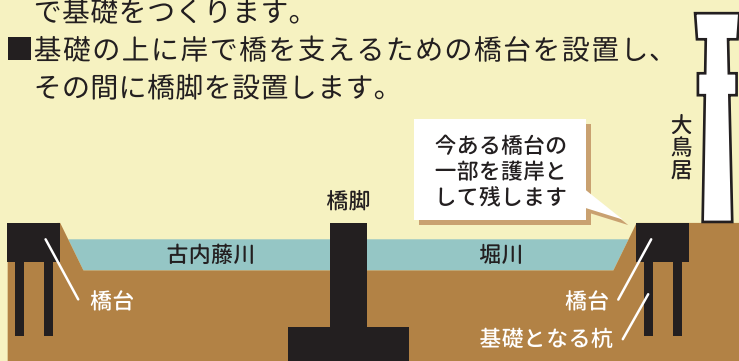
ステップ1

きょうだい きょうきやく

橋台・橋脚の設置

この春から着手

- 橋全体を支えられるように、地中に杭を打ち込んで基礎をつくります。
- 基礎の上に岸で橋を支えるための橋台を設置し、その間に橋脚を設置します。



宇迦橋の設置工事業者より

この度、島根県出雲県土整備事務所より宇迦橋の架け替え工事に伴うあたらしい橋をつくる工事を施工することになりました。

大型機械での施工や資機材の搬入・搬出など皆様方にはなにかとご不便・ご迷惑をお掛けするとは思いますが、安全安心に努めて工事を進めていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なざら



宇迦橋設置工事受注業者：株式会社 中筋組
工期：令和3年1月15日～令和4年11月30日

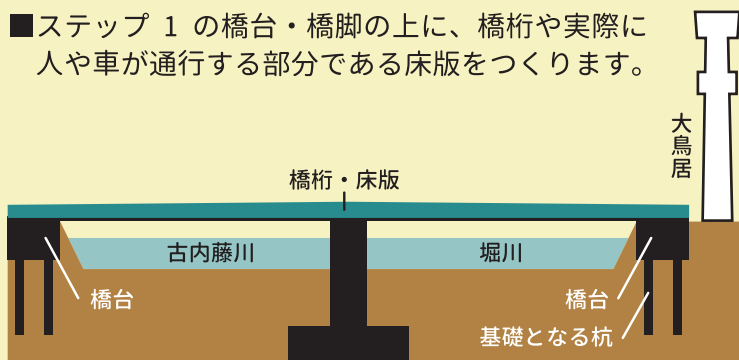
ステップ2

はしげた しょうばん

橋桁や床版の設置

令和4年秋ごろ着手予定

- ステップ1の橋台・橋脚の上に、橋桁や実際に人や車が通行する部分である床版をつくります。



かりさんばし 工事中仮橋の撤去

新しい橋の“上で”工事ができるようになったら、現在使用している工事中仮橋は、撤去します。



令和2年度には、大社中学校のみなさんに工事中仮橋の上から現場を見学してもらいました。

ステップ3 仕上げ

令和5年夏～秋ごろ着手予定

① 橋面の石畳舗装

きょうめん

ほ そう

- 橋面（橋の表面）に、神門通り線1工区と同じ、石畳舗装を行います。



② 高欄の設置

こうらん

- ワークショップで検討した照明付きの高欄（手すり）を設置します。



令和4年春現在、こんな工事が行われています。



大鳥居の補強工事

大鳥居は、1915年(大正4年)につくられ、出雲大社の玄関口として地域住民や来訪者を迎えてきました。

令和4年3月末に、基礎の補強工事を終え、現在、柱の補強工事を進めています。

宇迦橋の橋台・橋脚の設置工事

令和4年の秋ごろまで、宇迦橋を支える橋台や橋脚をつくっていきます。詳しくは、表面をご覧ください。

吉兆館交差点～宇迦橋南側の電線共同溝設置工事

神門通り線1工区と同様に、2工区でも電線類を地中化します。電線類を地中化することで、すっきりと美しい都市景観をつくとともに、地震や台風、積雪等による電柱電線の倒壊や断線等を防ぎ、安全性を向上させることが目的です。

今回の工事では、地上にある電柱や電線を地下に收容するための電線共同溝を設置します。

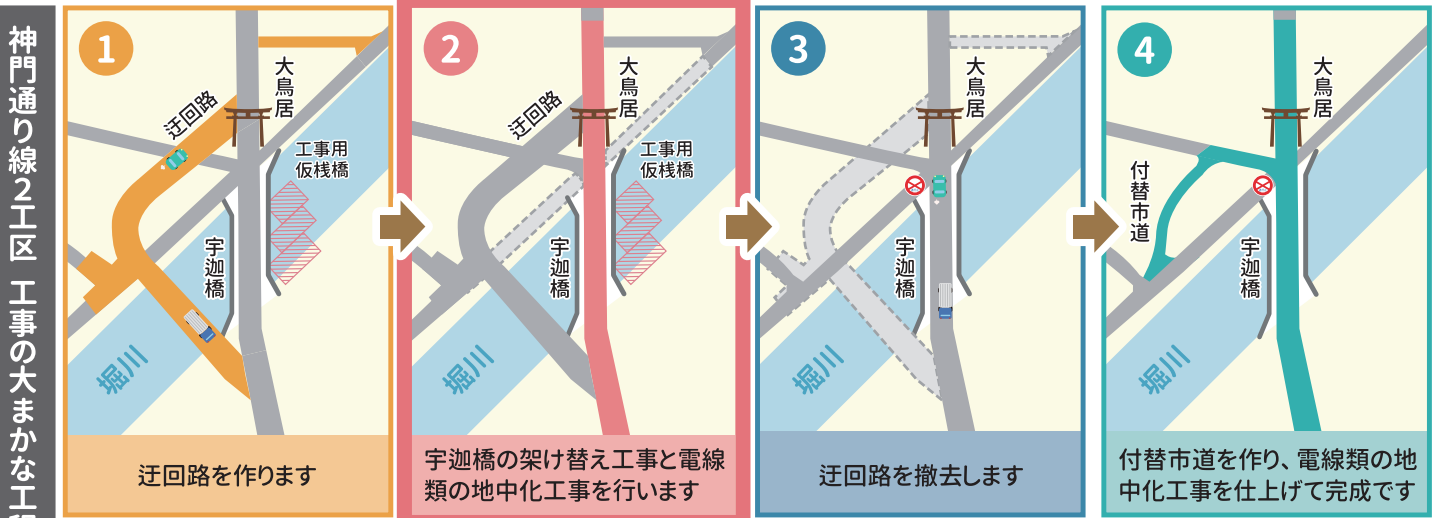
今後も、順次、北上しながら工事を進めていきます。

でんせんきょうどうこう



神門通り線1工区の電線共同溝設置工事の様子

現在



※予算等の都合によりスケジュールは変更となる可能性があります。その他、関連する上下水道工事が行われます。

出雲県土整備事務所 都市整備課からのメッセージ

春らしく散歩や散策するにはもってこいの季節となり、ゴールデンウィークも間近となりました。ご無沙汰しております、約1年ぶりの「工事かわら版」です。

さて、神門通り線2工区の工事ですが、いよいよ新しい橋の工事に取りかかります。みなさまとワークショップで検討したものが、だんだんと形になっていきますので、逐次ご報告したいと思います。また、並行して電線地中化の工事も進めています。沿線のみなさまの玄関先での作業も行うことになり、何かとご不便なことがあると思いますが、何かお気づきの点などありましたら、些細なことでも結構ですので、何なりと出雲県土までお申し付けください。

よろしく
お願いします!

